

# 市の財政状況

市民の皆さんに納めていただいた税金のほか、国・県からの支出金や地方交付税などが、どれくらい入り（歳入）、どのような事業にどれくらい使われたのか（歳出）など、市の財政状況をお知らせします。

財政局財政課 電話 096-8634（市役所4階）

## 一般会計・特別会計

会計		歳入	（うち一般会計からの繰入金）	歳出
一般会計		411億1,807万円	（－）	402億599万4千円
特別会計	国民健康保険	78億3,686万5千円	（6億2,921万5千円）	77億2,519万9千円
	後期高齢者医療	12億2,653万8千円	（3億3,282万3千円）	12億2,474万4千円
	介護保険	75億253万2千円	（11億1,579万円）	73億1,614万4千円
	診療所事業	1億6,122万円	（1億1,612万2千円）	1億6,122万円
	給水施設事業	1億2,899万9千円	（9,454万4千円）	1億2,893万円
	住宅新築資金等貸付事業	199万円	（－）	199万円

## 一般会計の内訳

	歳入	決算額	構成比	説明
自主財源	市税	80億2,499万2千円	19.5%	皆さんに納めていただいた市民税、固定資産税など
	繰入金	7億9,460万8千円	1.9%	基金からの繰入金など
	繰越金	5億5,611万2千円	1.4%	令和5年度から繰り越されたお金
	その他	23億9,535万5千円	5.9%	公共施設の使用料など
依存財源	地方交付税	125億2,816万1千円	30.5%	市町村が等しく事業を遂行できるよう、国から交付されるお金
	国庫支出金	67億4,577万6千円	16.4%	市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金
	市債	33億5,066万7千円	8.1%	市の借入金で償還が1年を超えて行われるもの
	その他	67億2,239万9千円	16.3%	県支出金や地方消費税交付金など
合計		411億1,807万円		

歳出	決算額	構成比	説明
総務費	49億6,550万9千円	12.4%	庁舎の管理、戸籍、税の収納、選挙など
民生費	139億118万5千円	34.6%	児童、高齢者、障がい者の福祉など
衛生費	38億778万9千円	9.5%	健康診断、予防接種、ごみ処理など
農林水産業費	20億9,156万6千円	5.2%	農林業の振興など
商工費	8億1,552万3千円	2.0%	商工業の振興など
土木費	30億6,140万8千円	7.6%	道路、公園などの整備・維持など
教育費	39億1,720万7千円	9.7%	学校教育、生涯教育、文化振興など
公債費	40億1,689万7千円	10.0%	市の借金返済
その他	36億2,891万円	9.0%	災害の復旧、就労支援、中小企業労働対策など
合計	402億599万4千円		

## 令和6年度決算

令和6年度の一般会計の歳入は、

**411億1,807万円**でした。

その内訳は、

**依存財源が約7割、自主財源が約3割**です。

**市税は80億2,499万2千円**で歳入の**約2割**、

国からの**地方交付税は125億2,816万1千円**で、

歳入の**約3割**を占めています。

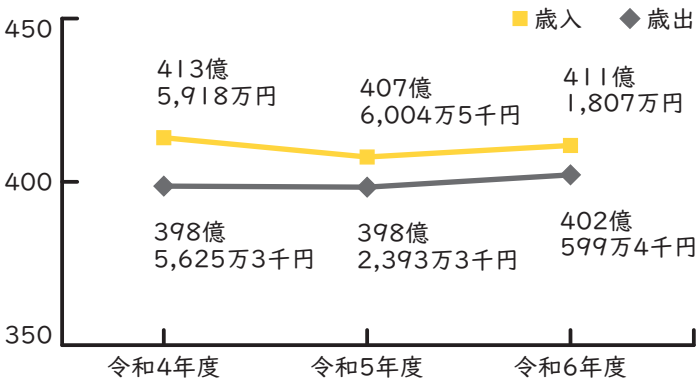
## 依存財源と自主財源

■ 依存財源…地方交付税などのように、国や県等に頼った財源のことを言います。

■ 自主財源…市税や使用料・手数料などのように、市が自主的に収入できる財源のことを言います。

● 自主財源の割合が高ければ高いほど、その使途の決定において自主性が高いと言えます。

## 一般会計決算規模の推移



## 市税の収入状況

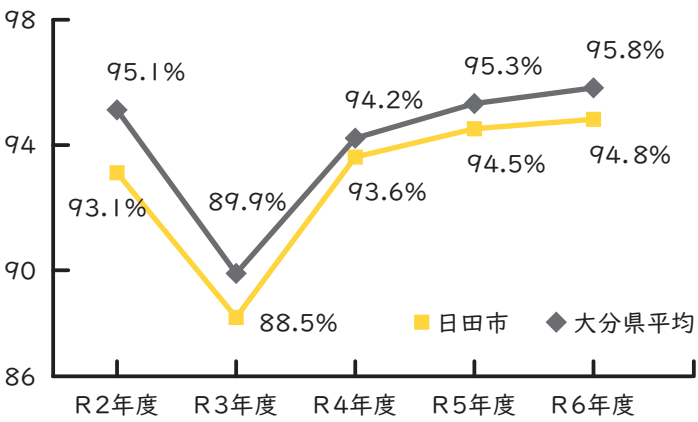
市民1人当たりの額は、令和7年3月31日現在の人口59,668人で算出しています。

税目別	予算現額	調定額	収入額	市民1人当たり
市民税	26億7,282万9千円	28億4,621万5千円	28億1,356万8千円	4万7,154円
固定資産税	38億7,467万1千円	40億4,599万5千円	39億6,410万1千円	6万6,436円
軽自動車税	2億7,845万5千円	2億8,645万8千円	2億8,095万4千円	4,708円
市たばこ税	4億9,561万5千円	4億9,224万1千円	4億9,224万1千円	8,250円
入湯税	3,579万7千円	3,347万2千円	3,347万2千円	561円
都市計画税	4億3,972万6千円	4億5,014万1千円	4億4,065万6千円	7,385円
合計	77億9,709万3千円	81億5,452万2千円	80億2,499万2千円	13万4,494円

## 経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金（地方税、普通交付税など）が、毎年決まって出ていくお金（人件費、借金の返済など）に、どの程度充てられるかを示す指標です。この比率が低いほど、財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

令和6年度 **94.8%**（令和5年度より+0.3%）



## 基金残高

1人当たり約**32万円**

R4年度 173億5,613万円

R5年度 185億9,921万9千円

R6年度 189億4,209万7千円

（うち有価証券による保有額50億1,443万円）

## 地方債残高

1人当たり約**54万円**

R4年度 343億3,211万7千円

R5年度 330億8,437万5千円

R6年度 324億7,576万4千円

償還に国からの交付税措置があるものの活用を基本としています。